

深坂溜池

(みさかためいけ)



全景



ため池の概要

ため池の所在地

山口県下関市

ため池の特徴

深坂溜池は、下流の水田300haに農業用水を供給する重要な水源となっています。

周辺一体は「深坂自然の森」となっており、春には桜が咲き、堤体はツツジで白鳥をかたどられ、人々がウォーキングなどを楽しんでいます。

大きな川が無く毎年水不足に苦勞してきた安岡地区で、明治の末、村の有志により河川源流部に溜池の築造が計画され、延べ13万人、10年の歳月、30万円(今なら30億以上)をかけ、苦勞の末、大正13年に完成しました。

大正10年には大雨で堤防が崩れて人が亡くなり、投票の結果、1票差で工事継続となったこともあり、また、ため池出口には円筒分土工があり、長年の水争いや調整の苦勞を滲ませています。

稲作の他、ふぐ料理や瓦そば等郷土料理に欠かせない「安岡ネギ」など畑作も盛んで、溜池は地域の農業、文化形成に大きな役割を果たしています。

池には、希少種のほか多種の昆虫類が生息し、豊かな自然との深い交流ができる場所となっています。下関環境総合計画でも、市内では珍しくなったカエル、イモリなど保全すべき典型的な生態系を持つ地域として位置づけられています。

関連情報

【深坂の溜池と安岡土地改良区】下関市安岡土地改良区資料